⑶　国立国会図書館資料保存専門職員採用試験（大卒程度試験）
⑷　国立国会図書館情報システム・設備専門職員採用試験（大卒程度試験）

2　職務内容
⑴　総合職、一般職試験（大卒程度試験）による採用者　調査業務、司書業務、一般事務等の館務
⑵　国立国会図書館資料保存専門職員採用試験（大卒程度試験）による採用者　各種図書館資料の保存修復業務（製本実務を含む。）、資料保存（マイクロ資料、電子情報等、紙媒体以外の資料の保存を含む。）に関する企画・調査及び当該専門的知識を必要とする業務（国内外関係者への研修、外部関連機関との交流等）
⑶　国立国会図書館情報システム・設備専門職員採用試験（大卒程度試験）による採用者　情報システム（アプリケーション開発、ネットワーク及びハードウェア設備等）及び設備機器に係る企画・調達・維持・管理業務、図書館システムに係る調査研究業務並びに当該専門的知識を必要とする業務

3　官署及び勤務地
⑴　東京都
①　国立国会図書館東京本館（東京都千代田区永田町１―10―１）
②　国立国会図書館国際子ども図書館（東京都台東区上野公園12―49）
⑵　京都府
国立国会図書館関西館（京都府相楽郡精華町精華台８－１－３）
いずれの官署の職員も、国立国会図書館職員として、本採用試験により採用する。三官署が国立国会図書館として一体となった業務・サービスを行うため、官署間の異動、東京と京都の間の転勤がある。

4　採用予定人数
⑴　総合職試験　若干名
⑵　一般職試験（大卒程度試験）　若干名
⑶　国立国会図書館資料保存専門職員採用試験（大卒程度試験）　若干名
⑷　国立国会図書館情報システム・設備専門職員採用試験（大卒程度試験）　若干名

5　総合職試験
⑴　受験資格
①　平成元年４月２日から平成10年４月１日までに生まれた者
②　平成10年４月２日以降に生まれた者で次に掲げるもの
ａ　学校教育法による大学を卒業した者又は平成31年３月までに卒業する見込みの者
ｂ　館長がａに掲げる者と同等の資格があると認める者
ただし、日本の国籍を有しない者及び国会職員法第２条の規定により国会職員となることができない者は、受験することができない。
⑵　受験の特例
総合職試験の受験者は、申込みに際して、併せて一般職試験（大卒程度試験）の受験者としての取扱いを希望することができる。
⑶　第１次試験
①　試験日　平成30年５月19日（土）
②　試験地　東京都及び京都府
③　試験内容　教養試験（多肢選択式）
④　合格者発表　平成30年５月30日（水）
⑷　第２次試験（第１次試験の合格者に対して行う。）
①　試験日及び試験地
ａ　平成30年６月16日（土）　筆記試験（専門試験、英語試験及び小論文試験）　東京都
ｂ　平成30年６月19日（火）から６月22日（金）まで、６月25日（月）から６月29日（金）まで及び７月３日（火）から７月４日（水）までのうち指定する日　人物試験　国立国会図書館東京本館
②　試験内容
ａ　専門試験（記述式）　法学（憲法、民法、行政法及び国際法からの２分野選択式）、政治学、経済学、社会学、文学、史学（日本史、東洋史及び西洋史からの選択式）、図書館情報学、物理学、化学、数学、工学・情報工学（工学全般及び情報工学からの選択式）及び生物学のうち、受験者があらかじめ選択する１科目
ｂ　英語試験（記述式）
ｃ　小論文試験
ｄ　人物試験（個別面接）　人物試験の参考とするため、性格検査（質問紙法）を実施する。
（第２次試験合格者の決定は、専門試験、英語試験及び人物試験の成績を総合して行い、小論文試験は、総合職試験第３次試験における評定に用いる。）
③　合格者発表　平成30年７月20日（金）
⑸　第３次試験（第２次試験の合格者に対して行う。）
①　試験日　平成30年７月30日（月）から８月３日（金）までのうち指定する日
②　試験場　国立国会図書館東京本館
③　試験内容　人物試験（集団討論及び個別面接）
⑹　最終合格者発表　平成30年８月10日（金）以降、各人宛て郵便で合否を通知する。また、国立国会図書館ホームページに合格者の受験番号を掲載する。
⑺　採用予定年月日　平成31年４月１日
⑻　基準給与　行政職給料表㈠２級１号給

6　一般職試験（大卒程度試験）
⑴　受験資格
①　平成元年４月２日から平成10年４月１日までに生まれた者
②　平成10年４月２日以降に生まれた者で次に掲げるもの
ａ　学校教育法による大学を卒業した者又は平成31年３月までに卒業する見込みの者
ｂ　学校教育法による短期大学若しくは高等専門学校を卒業した者又は平成31年３月までに卒業する見込みの者
ｃ　館長がａ又はｂに掲げる者と同等の資格があると認める者
ただし、日本の国籍を有しない者及び国会職員法第２条の規定により国会職員となることができない者は、受験することができない。
⑵　第１次試験
①　試験日　平成30年５月19日（土）
②　試験地　東京都及び京都府
③　試験内容　教養試験（多肢選択式）
④　合格者発表　平成30年５月30日（水）
⑶　第２次試験（第１次試験の合格者に対して行う。）
①　試験日及び試験地
ａ　平成30年６月16日（土）　筆記試験（専門試験及び英語試験）　東京都
ｂ　平成30年６月19日（火）から６月22日（金）まで、６月25日（月）から６月29日（金）まで及び７月３日（火）から７月４日（水）までのうち指定する日　人物試験　国立国会図書館東京本館
②　試験内容
ａ　専門試験（記述式）　法学（憲法、民法、行政法及び国際法からの２分野選択式）、政治学、経済学、社会学、文学、史学（日本史、東洋史及び西洋史からの選択式）、図書館情報学、物理学、化学、数学、工学・情報工学（工学全般及び情報工学からの選択式）及び生物学のうち、受験者があらかじめ選択する１科目
ｂ　英語試験（記述式）
ｃ　人物試験（個別面接）　人物試験の参考とするため、性格検査（質問紙法）を実施する。
③　合格者発表　平成30年７月20日（金）
⑷　第３次試験（第２次試験の合格者に対して行う。）
①　試験日　平成30年７月30日（月）から８月３日（金）までのうち指定する日
②　試験場　国立国会図書館東京本館
③　試験内容　人物試験（個別面接）
⑸　最終合格者発表　平成30年８月10日（金）以降、各人宛て郵便で合否を通知する。また、国立国会図書館ホームページに合格者の受験番号を掲載する。
⑹　採用予定年月日　原則として、平成31年４月１日
⑺　基準給与　行政職給料表㈠１級25号給

7　資料保存専門職員採用試験（大卒程度試験）
⑴　受験資格
①　平成元年４月２日から平成10年４月１日までに生まれた者
②　平成10年４月２日以降に生まれた者で次に掲げるもの
ａ　学校教育法による大学を卒業した者又は平成31年３月までに卒業する見込みの者